

西桂町の給与・定員管理等について

1 総括

(1) 人件費の状況（普通会計決算）

区 分	住民基本台帳人口 (25年1月1日)	歳 出 額 A	実質収支	人 件 費 B	人件費率 B/A	(参考) 24年度の人件費率
	人	千円	千円	千円	%	%
25年度	4703	1,953,534	101,847	395,906	20.3	21.5

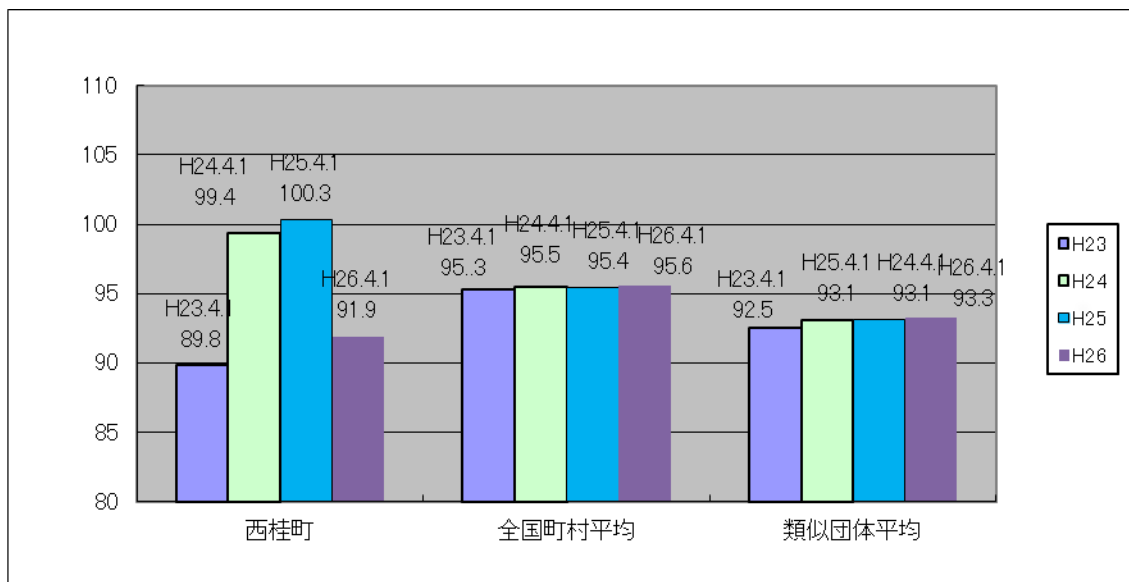
(2) 職員給与費の状況（普通会計決算）

区 分	職員数 A	給 与 費			
		給 料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B
	人	千円	千円	千円	千円
25年度	45	169,030	17,387	61,431	247,848

(参考)一人当たり給与費 B/A	(参考)類似団体平均一人当たり給与費
千円	千円
5,507	5,334

- (注) 1 職員手当には退職手当を含まない。
 2 職員数は、25年4月1日現在の人数である。
 3 給与費については、任期付短時間勤務職員（再任用職員（短時間勤務））の給与費が含まれており、職員数には当該職員を含んでいない。

(3) ラスパイレス指数の状況



- (注) 1 ラスパイレス指数とは、全地方公共団体の一般行政職の給料月額を同一の基準で比較するため、国の職員数（構成）を用いて、学歴や経験年数の差による影響を補正し、国の行政職俸給表（一）適用職員の俸給月額を100として計算した指数。
 2 類似団体平均とは、人口規模、産業構造が類似している団体のラスパイレス指数を単純平均したものである。
 3 平成24年及び平成25年は、国家公務員の時限的な（2年間）給与改定・臨時特例法による給与減額措置がないとした場合の値である。

※ ○年4月1日のラスパイレス指数が、①3年前に比べ1ポイント以上上昇している場合、②3年連続で上昇している場合、③100を超えている場合について、その理由及び改善の見込み

--

(4) 給与改定の状況

※西桂町は人事委員会を設置していないので記載なし。

①月例給

区分	人事委員会の勧告				給与改定率	(参考) 国の改定率
	民間給与 A	公務員給与 B	較差 A - B (%)	勧告 (改定率)		
○年度	円	円	円 (%)	%	%	%

(注) 「民間給与」、「公務員給与」は、人事委員会勧告において公民の4月分の給与額をラスパイレス比較した平均給与月額である。

②特別給(期末・勤勉手当)

区分	人事委員会の勧告				年間支給月数	(参考) 国の年間 支給月数
	民間の支給 割合 A	公務員の 支給月数 B	較差 A - B	勧告 (改定月数)		
○年度	月	月	月	月	月	月

(注) 「民間の支給割合」は民間事業所で支払われた賞与等の特別給の年間支給割合、「公務員の支給月数」は期末手当及び勤勉手当の年間支給月数である。

(5) 給与制度の総合的見直しの実施状況について

【概要】国の給与制度の総合的見直しにおいては、俸給表の水準の平均2%の引下げ及び地域手当の支給割合の見直し等に取り組むとされている。

①給料表の見直し

[実施] 未実施]

実施内容(平均引下げ率、実施(実施予定)時期、経過措置の有無等具体的な内容(未実施の場合には、その理由))

(給料表の改定実施時期)平成27年4月1日
 (内容)一般行政職の給料表について、国の見直し内容を踏まえ、平均2%引下げ。激変緩和のため、当面の間の経過措置(現給保障)を実施。

②地域手当の見直し

※西桂町では地域手当の制度はありません。

実施内容（国基準における場合の支給割合及び当該団体の支給割合）

(支給割合) 【記入例】国基準●%に対し、△△市においても●%を支給。
 (実施時期) 【記入例】平成27年4月1日より実施。段階的に支給割合を上げることとし、平成27年度は1%。

(参考)

	平成26年度の支給割合	見直し後の支給割合 (H30.4.1)	平成27年度の支給割合
国基準による支給割合	0%	3%	1%
△△市の支給割合	0%	3%	1%

③その他の見直し内容

管理職員特別勤務手当について、国と同様に見直しを実施。(平成27年4月1日実施)

(6)特記事項

2 職員の平均給与月額、初任給等の状況

(1) 職員の平均年齢、平均給料月額及び平均給与月額の状況 (26年4月1日現在)

①一般行政職

区分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均給与月額 (国比較ベース)
西桂町	46.3 歳	327,000 円	326,978 円	348,836 円
山梨県	43.3 歳	338,685 円	423,263 円	376,250 円
国	43.5 歳	335,000 円	—	408,472 円
類似団体	42.2 歳	301,845 円	343,565 円	327,931 円

※西桂町では技能労務者はいません。

②技能労務職

区 分	公 務 員					民 間			参 考 A/B
	平均年齢	職員数	平均給料月額	平均給与月額 (A)	平均給与月額 (国比較ベース)	対応する民間 の類似職種	平均年齢	平均給与月額 (B)	
〇〇市	歳	人	円	円	円	—	—	—	—
うち〇〇〇〇	歳	人	円	円	円	〇〇〇〇	歳	円	
うち〇〇〇〇	歳	人	円	円	円	〇〇〇〇	歳	円	
うち〇〇〇〇	歳	人	円	円	円	〇〇〇〇	歳	円	
〇〇県	歳	人	円	—	円	—	—	—	—
国	歳	人	円	—	円	—	—	—	—
類似団体	歳	人	円	円	円	—	—	—	—

区 分	参 考		
	年収ベース(試算値)の比較		
	公務員 (C)	民間 (D)	C/D
〇〇市	—	—	—
うち〇〇〇〇	円	円	
うち〇〇〇〇	円	円	
うち〇〇〇〇	円	円	

※民間データは、賃金構造基本統計調査において公表されているデータを使用している(平成〇～〇年の3ヶ年平均)。
 ※技能労務職の職種と民間の職種等の比較にあたり、年齢、業務内容、雇用形態等の点において完全に一致しているものではない。
 ※年収ベースの「公務員(C)」及び「民間(D)」のデータは、それぞれ平均給与月額を12倍したものに、公務員においては前年度に支給された期末・勤勉手当、民間においては前年に支給された年間賞与の額を加えた試算値である。

- (注) 1 「平均給料月額」とは、26年4月1日現在における各職種ごとの職員の基本給の平均である。
- 2 「平均給与月額」とは、給料月額と毎月支払われる扶養手当、地域手当、住居手当、時間外勤務手当などのすべての諸手当の額を合計したものであり、地方公務員給与実態調査において明らかにされているものである。
- また、「平均給与月額(国比較ベース)」は、比較のため、国家公務員と同じベース(=時間外勤務手当等を除いたもの)で算出している。

(2) 職員の初任給の状況（26年4月1日現在）

区 分		西桂町	山梨県	国
一般行政職	大学卒	172,200円	178,800円	172,200円
	高校卒	140,100円	144,500円	140,100円
看護保健職	大学卒	201,100円	円	—
		円	円	—

(3) 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額状況（26年4月1日現在）

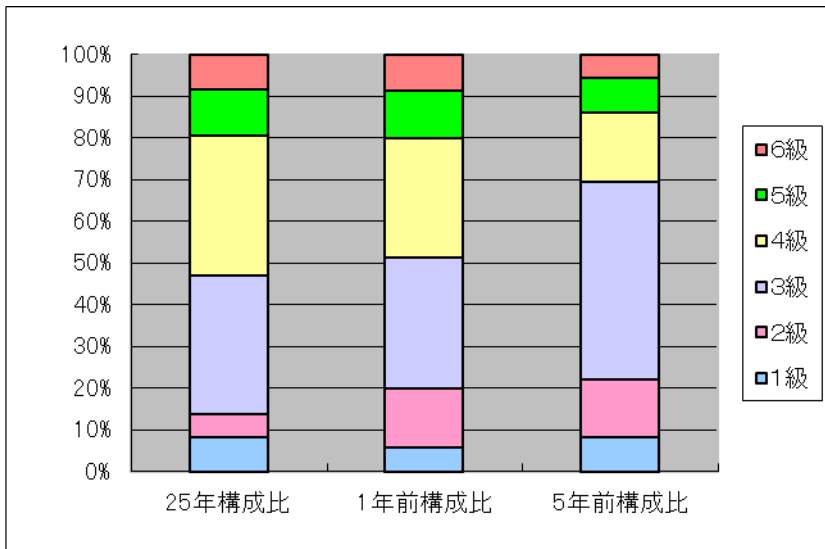
区 分		経験年数10年	経験年数20年	経験年数25年	経験年数30年
一般行政職	大学卒	260,900円	321,300円	368,700円	393,100円
	高校卒	円	321,700円	312,200円	393,800円

3 一般行政職の級別職員数等の状況

(1) 一般行政職の級別職員数及び給料表の状況（26年4月1日現在）

区 分	標準的な職務内容	職員数	構成比	1号給の給料月額	最高号給の給料月額
1 級	主事、主事補の職務	3人	8.3%	135,600円	243,700円
2 級	主任の職務	2人	5.6%	185,800円	308,100円
3 級	主幹、係長の職務	13人	36.1%	222,900円	355,000円
4 級	課長補佐の職務	11人	30.5%	261,900円	388,600円
5 級	課長	4人	11.2%	289,200円	401,000円
6 級	困難な業務をつかさどる課長の職務	3人	8.3%	320,600円	423,000円
	会計管理者				

- (注) 1 西桂町の給与条例に基づく給料表の級区分による職員数である。
 2 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務である。



(注) 平成 18 年に 8 級制から 6 級制に変更している。(旧給料表の 1 級及び 2 級並びに 4 級及び 5 級をそれぞれ統合)

(2) 昇給への勤務成績の反映状況

人事評価制度が試行中のため、勤務成績に応じた昇給は反映させていません。

4 職員の手当の状況

(1) 期末手当・勤勉手当

西桂町	山梨県	国
1人当たり平均支給額(25年度) 61,431 千円	1人当たり平均支給額(25年度) 1,484 千円	—
(25年度支給割合) 期末手当 2.60 月分 勤勉手当 1.35 月分 (1.45)月分 (0.65)月分	(25年度支給割合) 期末手当 2.60 月分 勤勉手当 1.35 月分 (1.45)月分 (0.65)月分	(25年度支給割合) 期末手当 2.60 月分 勤勉手当 1.35 月分 (1.45)月分 (0.65)月分
(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・ 役職加算 5～15%	(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・ 役職加算 5～20% ・ 管理職加算 10～25%	(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・ 役職加算 5～20% ・ 管理職加算 10～25%

(注) ()内は、再任用職員に係る支給割合である。

○勤勉手当への勤務成績の反映状況（一般行政職）

人事評価制度が試行中のため、勤務成績に応じての昇給は反映させていません。

(2) 退職手当（26年4月1日現在）

西桂町				国			
(支給率)	自己都合	応募認定・定年		(支給率)	自己都合	応募認定・定年	
勤続20年	21.62	月分	27.025	勤続20年	21.62	月分	27.025
勤続25年	30.82	月分	36.57	勤続25年	30.82	月分	36.57
勤続35年	43.70	月分	52.44	勤続35年	43.70	月分	52.44
最高限度額	52.44	月分	52.44	最高限度額	52.44	月分	52.44
その他の加算措置				その他の加算措置			
定年前早期退職特例措置（2%～20%）				定年前早期退職特例措置（2%～20%）			
（退職時特別昇給）				（退職時特別昇給）			
1人当たり平均支給額				1人当たり平均支給額			
		千円	千円			千円	千円

(3) 地域手当（○年4月1日現在）

※西桂町では地域手当の制度はありません。

支給実績（○年度決算）			千円
支給職員1人当たり平均支給年額（○年度決算）			円
支給対象地域	支給率	支給対象職員数	国の制度（支給率）
	%	人	%
	%	人	%
	%	人	%
	%	人	%
	%	人	%
地域手当補正後ラスパイレス指数 （ラスパイレス指数）			○○.○ (●●.●)

(注) 地域手当補正後ラスパイレス指数とは、地域手当を加味した地域における国家公務員と地方公務員の給与水準を比較するため、地域手当の支給率を用いて補正したラスパイレス指数。

(補正前のラスパイレス指数×(1+当該団体の地域手当支給率) / (1+国の指定基準に基づく地域手当支給率) により算出。)

(4) 特殊勤務手当（○年4月1日現在）

※西桂町では特殊勤務手当の制度はありません。

支給実績（○年度決算）			千円	
支給職員1人当たり平均支給年額（○年度決算）			円	
職員全体に占める手当支給職員の割合（○年度）			%	
手当の種類（手当数）				
手当の名称	主な支給対象職員	主な支給対象業務	支給実績 （○年度決算）	左記職員に対する支給 単価
○○手当			千円	日額○○円
○○手当			千円	1件当たり○○円

(5) 時間外勤務手当

支給実績（25年度）	6,604	千円
職員1人当たり平均支給年額 （25年度決算）	200	千円
支給実績（24年度）	4,464	千円
職員1人当たり平均支給年額 （24年度決算）	124	千円

（注） 職員1人当たり平均支給額を算出する際の職員数は、「支給実績（○年度決算）」と同じ年度の4月1日現在の総職員数（管理職員、教育職員等、制度上時間外勤務手当の支給対象とはならない職員を除く。）であり、短時間勤務職員を含む。

(6) その他の手当（26年4月1日現在）

手当名	内容及び支給単価	国の制度との異同	国の制度と異なる内容	支給実績 （25年度決算）	支給職員1人当たり 平均支給年額 （25年度決算）
扶養手当	配偶者13000円 子等の扶養1人6500円 特定扶養は5000円加算	同じ	なし	千円 4,494	円 214,000
住居手当	借家で家賃12000円を超える場合に限り、家賃の額に応じ27000円限度に支給	同じ	なし	千円 648	円 216,000
通勤手当	自動車等を使用する場合、通勤距離に応じて月額2000円から支給	同じ	なし	千円 399	円 39,900
管理職手当	課長5・6級	同じ	なし	千円 5,174	円 575,000
日直手当	勤務1回につき4200円	同じ	なし	千円 514	円 25,000

5 特別職の報酬等の状況（26年4月1日現在）

区分		給料		月額等	
給料	町長	520,000円	(580,000円)	(参考) 類似団体における最高/最低額	
	教育長	480,000円		840,000円 / 230,400円	
報酬	議長	200,000円	(160,000円)	395,000円 / 140,000円	
	副議長	160,000円		310,000円 / 115,000円	
	議員	145,000円		290,000円 / 100,000円	
期末手当	市区町村長 副市町村長	(25年度支給割合) 3.10 月分			
	議長 副議長	(25年度支給割合) 3.35 月分			

退職手当	市区町村長 副市町村長	(算定方式) (1期の手当額) (支給時期) 退職した日の給料月額×在職月数×42/100
	備考	

- (注) 1 給料及び報酬の()内は、減額措置を行う前の金額である。
 2 退職手当の「1期の手当額」は、4月1日現在の給料月額及び支給率に基づき、1期(4年=48月)勤めた場合における退職手当の見込額である。

6 職員数の状況

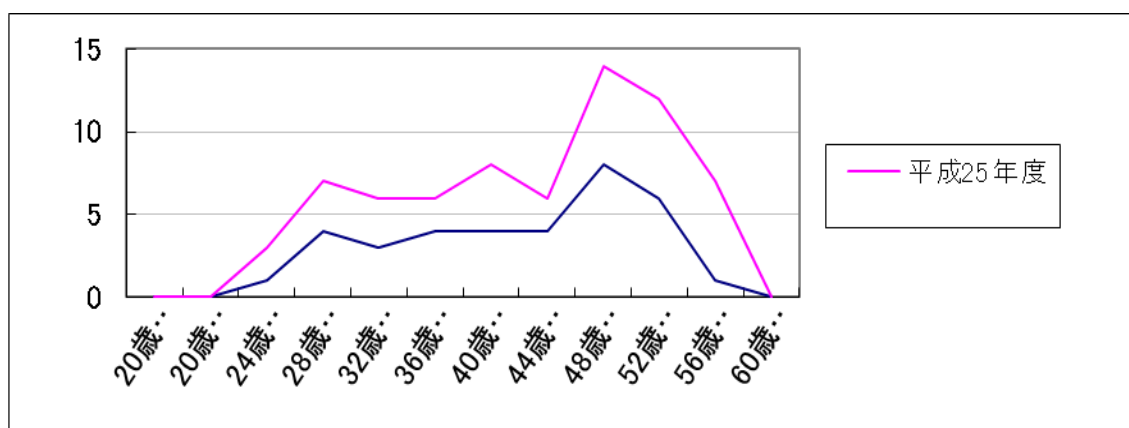
(1) 部門別職員数の状況と主な増減理由

(各年4月1日現在)

部門	区分		職員数		対前年 増減数	主な増減理由
			平成25年	平成26年		
普通 会計 部門	一般 行政 部門	議会	2	2	0	税務課職員1名を臨時で対応
		総務	10	10	0	
		税務	4	3	-1	
		戸籍	1	1	0	
		福祉	12	12	0	
衛生		4	4	0		
産業		2	2	0		
商工 土木		3 4	3 4	0 0		
	計	42	41	-1	<参考> 人口1万人当たり職員数 人 (類似団体の人口1万人当たりの職員数 人)	
	教育部門	4	4	0		
	小計	46	45	-1	<参考> 人口1万人当たり職員数 人 (類似団体の人口1万人当たりの職員数 人)	
公営 企業 等部門	水道	1	1	0		
	下水道	1	1	0		
	国民健康保険	2	2	0		
	介護保険	1	1	0		
	小計	5	5	0		
	合計	51	50	-1	<参考> 人口1万人当たり職員数 人	
		[58]	[58]			

- (注) 1 職員数は一般職に属する職員数である。
 2 []内は、条例定数の合計である。

(2) 年齢別職員構成の状況（26年4月1日現在）



区分	20歳未満	20歳～23歳	24歳～27歳	28歳～31歳	32歳～35歳	36歳～39歳	40歳～43歳	44歳～47歳	48歳～51歳	52歳～55歳	56歳～59歳	60歳以上	計
職員数	0人	1人	2人	3人	5人	2人	10人	3人	10人	6人	8人	0人	50人

(3) 職員数の推移

（単位：人・％）

部門別	21年	22年	23年	24年	25年	26年	過去5年間の増減数(率)
一般行政	42	42	41	42	42	41	△1(%)
教育	4	4	4	4	4	4	(%)
消防							(%)
普通会計計	46	46	45	46	46	45	△1(%)
公営企業等会計計	5	5	5	5	5	5	(%)
総合計	51	51	50	51	51	50	△1(%)

(注) 1 各年における定員管理調査において報告した部門別職員数。

2 合併した団体にあつては、合併前の年については合併前の旧団体の合計職員数。

7 公営企業職員の状況

※西桂町で地方公共企業法を全部適用する公営企業に該当する事業はありません。